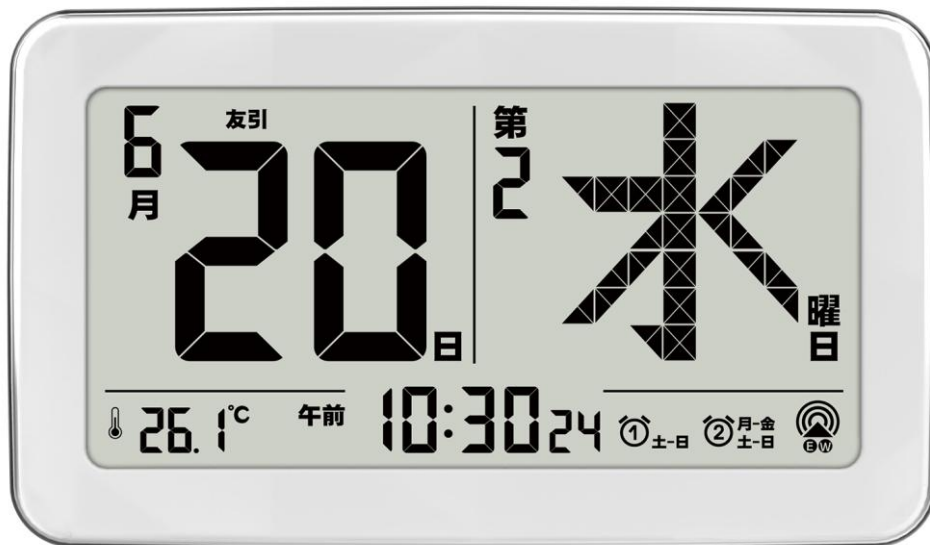


E00Q 電波デジタルカレンダー時計

取扱説明書 / USER MANUAL



JJY 40/60 kHz

東日本・西日本対応

Calendar / Rokuyo

万年カレンダー・六曜・第何週表示

Dual Alarm

2つのアラーム / スヌーズ

Temperature / Light

温度表示・バックライト・電池残量表示

日本語版を前半、英語版を後半に収録しています。

Japanese instructions first, English instructions second.

ご購入ありがとうございます

毎日の暮らしに、心地よい「時」を。

この度は E00Q 製品をお選びいただき、誠にありがとうございます。

ご使用中にお困りのことがございましたら、どうぞお気軽にお問い合わせください。

初期不良・故障・使い方・部品不足など、専任スタッフが丁寧に対応いたします。

LINE 公式アカウントから
簡単にお問い合わせできます

QR コードを読み取って、
すぐにご連絡いただけます。

LINE ID : @854dzxqu

メール :
support@eooq.jp



安心の2年間保証

E00Q 製品は、ご購入日より2年間の保証付きです。
内容を確認のうえ、交換・返品・返金など、状況に応じて適切に対応いたします。

このような場合はご相談ください

- ✓ 初期不良・故障
- ✓ 設定方法・操作方法がわからない
- ✓ 部品不足・破損
- ✓ その他ご不明な点

お問い合わせの流れ

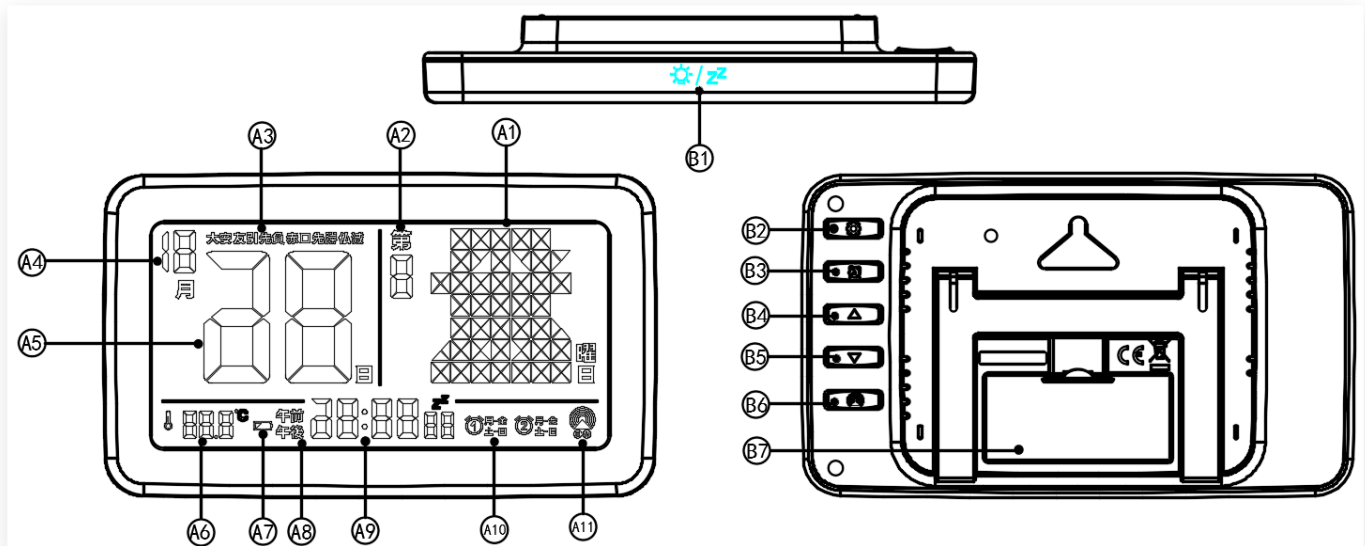
1	LINE またはメールで問い合わせ
2	ご注文番号と状況をお知らせください
3	スタッフより順次ご案内いたします

E00Q 775 取扱説明書

主な機能

- ▶ 日本標準電波（JJY）40kHz／60kHz 両周波数対応
（東日本・西日本を問わず全国対応）
- ▶ 万年カレンダー
- ▶ 曜日の日本語表示
- ▶ 月内の第何週表示機能
- ▶ 六曜表示機能
- ▶ 温度表示機能
- ▶ 測定範囲：－9.9℃～50.0℃
- ▶ 表示単位：0.1℃
- ▶ 測定間隔：約 30 秒
- ▶ 時刻表示
- ▶ 12 時間表示／24 時間表示の切り替え
- ▶ 2 つのアラーム設定機能およびスヌーズ機能
- ▶ バックライト：約 15 秒間点灯
- ▶ 電池残量低下表示
- ▶ 電源：単 4 形乾電池（LR03）2 本

各部の名称



A：液晶表示部

- A1：曜日表示
- A2：月内の第何週表示
- A3：六曜表示
- A4：月表示
- A5：日付表示
- A6：温度表示
- A7：電池残量低下表示
- A8：12 時間／24 時間表示
- A9：時刻表示
- A10：アラーム表示
- A11：電波受信マーク（E：東日本／W：西日本）

B：操作ボタン・電池収納部

- B1：スヌーズ／ライトタッチボタン
- B2：設定ボタン
- B3：アラームボタン
- B4：▲ボタン
- B5：▼ボタン
- B6：電波受信ボタン
- B7：電池収納部

ご使用前の準備

- ▶ 電池収納部のカバーを開けます。
- ▶ 「+」「-」の向きを確認し、単4形乾電池2本を正しく入れます。
- ▶ 電池を入れると、液晶画面のすべての表示が約3秒間点灯し、ブザーが「ピッ」と3回鳴ります。その後、通常表示に切り替わります。
- ▶ 電池を入れると、自動的に電波受信モードに入り、最初に東日本向けの40kHzの電波を受信します。

電波受信について

- ▶ 本製品は、東日本の40kHzと西日本の60kHzの両方に対応しています。画面の「E」は東日本（40kHz）、「W」は西日本（60kHz）を示します。受信する周波数は自動的に切り替わるため、東日本・西日本の両地域に対応し、日本全国で使用できます。※電波の受信状況は、地域、建物、設置環境によって異なります。

東日本（40kHz）の受信中：    の順に受信状態を表示します。画面に「E」が点灯したままになり、最初はアンテナ部分が点滅します。有効な電波を検出すると、アンテナ部分が点灯したままになり、上部の電波表示が点滅します。その後、時刻情報を受信します。受信完了まで最長約7分かかることがあります。東日本（40kHz）の電波を3分以内に検出できない場合は、自動的に西日本（60kHz）の受信へ切り替わります。

西日本（60kHz）の受信中：    の順に受信状態を表示します。画面に「W」が点灯したままになり、最初はアンテナ部分が点滅します。有効な電波を検出すると、アンテナ部分が点灯したままになり、上部の電波表示が点滅します。その後、時刻情報を受信します。受信完了まで最長約7分かかることがあります。西日本（60kHz）の電波も3分以内に検出できない場合は、電波受信を終了します。

- ▶ 東日本（40kHz）の受信に成功すると時刻が自動的に修正され、 が点灯します。西日本（60kHz）の受信に成功すると時刻が自動的に修正され、 が点灯します。
- ▶ 電波は「東日本（40kHz）→西日本（60kHz）」の順で自動受信します。東日本（40kHz）の電波を3分以内に検出できない場合は、西日本（60kHz）の受信へ切り替わります。有効な電波を検出した場合は、時刻情報の受信完了まで最長約7分かかることがあります。受信に成功すると、その時点で電波受信を終了します。東日本（40kHz）の受信に成功した場合は、西日本（60kHz）へは切り替わりません。
- ▶ 東日本（40kHz）と西日本（60kHz）のいずれでも有効な電波を受信できず、受信開始から約7分が経過した場合は、電波受信を自動的に終了し、それまでの時刻表示を継続します。
- ▶ 東日本（40kHz）の受信中に電波受信ボタンを短く1回押すと、西日本（60kHz）の受信へ手動で切り替えられます。西日本（60kHz）の受信中に▲ボタンを短く1回押すと、電波受信を終了します。
- ▶ 通常表示中に電波受信ボタンを2秒以上長押しすると、手動で電波受信を開始できます。受信の流れは、電池を入れた直後の自動受信と同じです。
- ▶ 電波受信中に行える操作は、バックライトの点灯と電波受信の終了のみです。
- ▶ 毎日1:00、2:00、3:00、4:00、5:00に自動で電波を受信します。1:00、2:00、3:00は主な受信時刻、4:00、5:00は補助受信時刻です。3:00までに受信できなかった場合は4:00、5:00にも順次受信しますが、いずれかの時刻で受信に成功すると、それ以降の受信は行いません。

- ▶ 電波受信に成功した後、手動設定で時刻・カレンダーのいずれかの項目を変更すると、 または  の受信マークは表示されなくなります。
- ▶ 一度電波受信に成功した後、次の自動受信に失敗した場合は、前回受信に成功した周波数に対応する受信マーク（ または ）が表示され、時刻が更新されなかったことを示します。
- ▶ 電波受信中にアラーム時刻になると、アラームが優先して鳴り、電波受信は中止されます。
- ▶ 電波受信中は、温度の測定を一時停止します。

電波を受信しやすくするために

- ▶ 電波受信マークのアンテナ部分が点滅しているときは、電波受信中です。
- ▶ 電波受信マークが点灯したままになったときは、電波の受信に成功しています。

- ▶ テレビやパソコンのモニターなど、電波障害の原因となる機器から 2.5m 以上離して設置することをおすすめします。
- ▶ コンクリート壁に囲まれた部屋、地下室、オフィスなどでは、電波を受信しにくいことがあります。その場合は、本製品を窓の近くに置いて受信してください。
- ▶ 電波受信中に操作できるのは、スヌーズ／ライトタッチボタン（バックライトの点灯）と▲ボタン（電波受信の終了）のみです。ほかの機能を使用するときは、▲ボタンを押して電波受信を終了してください。

時刻・カレンダーの手動設定

1. 通常表示中に設定ボタンを押すと、電波受信機能の「ON/OFF」が点滅します。▲／▼ボタンで ON または OFF を選択します。
2. 設定ボタンを押して確定すると、「時」が点滅します。▲／▼ボタンで現在時刻の「時」を設定します。
3. 設定ボタンを押して確定すると、「分」が点滅します。▲／▼ボタンで現在時刻の「分」を設定します。
4. 設定ボタンを押して確定すると、「年」が点滅します。▲／▼ボタンで現在の「年」を設定します。
5. 設定ボタンを押して確定すると、「月」が点滅します。▲／▼ボタンで現在の「月」を設定します。
6. 設定ボタンを押して確定すると、「日」が点滅します。▲／▼ボタンで現在の「日」を設定します。
7. 最後に設定ボタンを押して確定すると、設定が完了して通常表示に戻ります。

設定時のご注意

- ▶ 設定中に約 20 秒間ボタン操作がない場合は、設定モードを自動的に終了し、通常表示に戻ります。
- ▶ 六曜は「先勝 → 友引 → 先負 → 仏滅 → 大安 → 赤口」の順で繰り返します。
- ▶ 2033 年 8 月 25 日から 2034 年 3 月 19 日までの期間は、六曜が表示されません。西暦 2033 年の旧暦 7 月から翌年 2 月までの暦計算では、閏月を決定する天保暦の規則を通常どおり適用できない特殊な状態が生じます。これは「旧暦 2033 年問題」と呼ばれるため、この期間は六曜を表示しません。

曜日表示



第何週表示について

画面に表示される「第 1～第 5」は、その日が月内の第何週にあたるかを示します。毎月 1 日～7 日は第 1 週、8 日～14 日は第 2 週、15 日～21 日は第 3 週、22 日～28 日は第 4 週、29 日～月末は第 5 週として表示します。

アラームの設定

- ▶ 通常表示中にアラームボタンを短く押すと、AL1 と AL2 のアラーム時刻を順に確認できます。確認中は、該当するアラームマークと有効曜日（平日／週末）の表示が 1 秒間隔で点滅します。



- ▶ AL1 の時刻を確認している間は、AL2 が ON か OFF かにかかわらず AL2 のマークは一時的に表示されません。AL2 の時刻を確認している間も、AL1 のマークは一時的に表示されません。通常表示に戻ると、各アラームの設定状態が再び表示されます。

- ▶ アラームボタンを押すたびに、「AL1の確認 → AL2の確認 → 通常表示」の順に切り替わります。AL1 と AL2 の確認画面は、それぞれ約 5 秒間表示され、ボタンを押さない場合は自動的に通常表示へ戻ります。
- ▶ 通常表示中にアラームボタンを 2 秒以上長押しすると、アラーム設定に入ります。設定順序は「時 → 分 → 有効曜日 → スヌーズ時間」です。
- ▶ 設定中は▲／▼ボタンで数値や項目を変更します。短く押すと 1 段階ずつ変更でき、2 秒以上長押しすると、約 0.125 秒間隔で連続して変更できます。
- ▶ アラームの有効曜日は、「月～金（平日のみ）」「土～日（週末のみ）」「月～日（毎日）」の 3 種類から選択できます。「月～金」と「土～日」が同時に表示されている場合は、月曜日から日曜日まで毎日アラームが有効です。
- ▶ スヌーズ時間の初期設定は 8 分です。「OFF」または 1～30 分の範囲で設定できます。スヌーズ時間の設定中は「ZZ」が点灯し、設定値が 1 秒間に 1 回の間隔で点滅します。
- ▶ 新しいアラーム時刻を設定して終了すると、該当するアラームは自動的に ON になり、対応するアラームマークが点灯します。
- ▶ 設定中に約 20 秒間ボタン操作がない場合は、現在の設定内容を保存して設定モードを終了します。また、通常表示中に▼ボタンを短く押すと、AL1／AL2 の ON／OFF 状態を次の順に切り替えられます。

AL1 ON／AL2 OFF → AL1 OFF／AL2 ON → AL1 ON／AL2 ON → AL1 OFF／AL2 OFF → 繰り返し

アラーム・スヌーズ機能

- ▶ アラームの ON／OFF：通常表示中に▼ボタンを押すと、AL1／AL2 の ON／OFF 状態を切り替えられます。ON になっているアラームは、対応するアラームマークと有効曜日が表示されます。
- ▶ 設定したアラーム時刻になると、ブザーが約 2 分間鳴り、対応するアラームマークが点滅します。
- ▶ アラームが鳴っている間に、スヌーズ／ライトタッチボタン以外のボタンを押すか、約 2 分間そのままにすると、アラームが停止します。この場合はスヌーズには移行せず、次の設定時刻になると再びアラームが鳴ります。
- ▶ アラームが鳴っている間にスヌーズ／ライトタッチボタンを押すと、アラームが一時停止してスヌーズモードに入ります。アラームマークと「ZZ」が点滅し、設定したスヌーズ時間が経過すると再びアラームが鳴ります。もう一度スヌーズ／ライトタッチボタンを押すと、スヌーズを繰り返せます。
- ▶ スヌーズ設定が「OFF」の場合は、いずれかのボタンを押すとアラームが停止し、スヌーズには移行しません。次の設定時刻になると再びアラームが鳴ります。
- ▶ スヌーズモード中に、スヌーズ／ライトタッチボタン以外のボタンを押すと、スヌーズモードを終了します。アラームマークの点滅が止まり、「ZZ」も消灯します。
- ▶ AL1 と AL2 が同じ時刻に設定されている場合は、AL1 が優先されます。
- ▶ AL1 と AL2 が 1 分差で設定されている場合は、後のアラームが鳴ると、先に鳴っていたアラームは自動的に停止します。

温度表示について

- ▶ 温度測定範囲：－9.9℃～＋50.0℃
- ▶ 表示単位：0.1℃
- ▶ 測定温度が－9.9℃未満の場合は「LL.L℃」、＋50℃を超える場合は「HH.H℃」または「HH℃」と表示されます。
- ▶ 温度の測定間隔は約 30 秒です。アラーム動作中は、温度の測定を一時停止します。

バックライト

- ▶ スヌーズ／ライトタッチボタンを押すと、バックライトが約 15 秒間点灯します。
- ▶ 電波受信を開始すると、バックライトは自動的に消灯します。電波受信中でも、スヌーズ／ライトタッチボタンを短く押すとバックライトを点灯できます。

電池残量低下表示

- ▶ 電池電圧が 2.5±0.1V 未満になると、電池残量低下マーク  が 1 秒間隔で点滅します。新しい電池に交換してください。

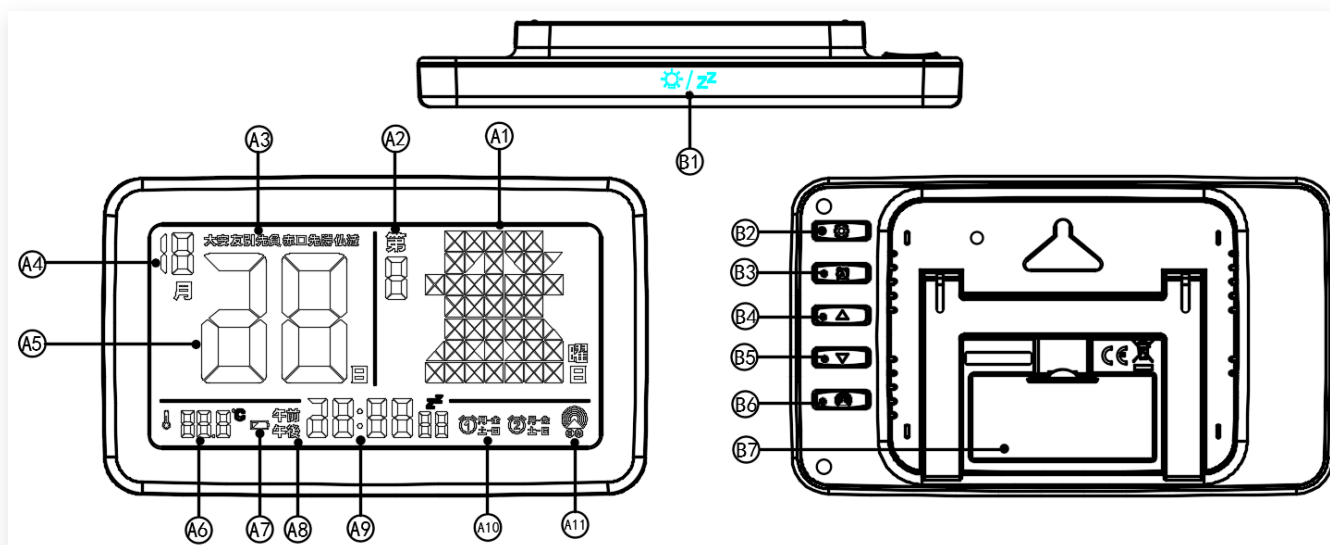
ENGLISH

For users in Japan who prefer English instructions

Main Features

- ▶ Japan Standard Time Signal (JJY), compatible with both 40 kHz and 60 kHz frequencies for use throughout Japan
- ▶ Perpetual calendar
- ▶ Japanese day-of-week display
- ▶ Week-of-month display
- ▶ Rokuyo calendar display (Sensho, Tomobiki, Senpu, Butsumetsu, Taian, Shakko)
- ▶ Temperature display: -9.9°C to 50.0°C, 0.1°C resolution, approximately 30-second measurement interval
- ▶ Time display with selectable 12-hour or 24-hour format
- ▶ Two alarms with snooze function
- ▶ Backlight: approximately 15 seconds
- ▶ Low-battery indicator
- ▶ Power supply: 2 × AAA (LR03) batteries

Parts and Controls



A: LCD Display

- A1: Day of the Week
- A2: Week of the Month
- A3: Six-Day Lunar Calendar Indicator
- A4: Month
- A5: Date
- A6: Temperature
- A7: Low Battery Indicator
- A8: 12/24-Hour Format
- A9: Time
- A10: Alarm Indicator
- A11: Radio Signal Indicator (E: Eastern Japan / W: Western Japan)

B: Buttons & Battery Compartment

- B1: Snooze / Light Button
- B2: Set Button
- B3: Alarm Button
- B4: ▲ Up Button
- B5: ▼ Down Button
- B6: Radio Signal Reception Button
- B7: Battery Compartment

Before First Use

- ▶ Open the battery compartment cover.
- ▶ Insert two AAA batteries, observing the “+” and “-” polarity markings.
- ▶ After the batteries are inserted, all LCD segments light for approximately 3 seconds and the buzzer sounds three times. The display then returns to normal.
- ▶ The clock automatically enters radio reception mode and first attempts to receive the East Japan 40 kHz signal.

Radio Signal Reception

- ▶ This clock supports both the East Japan 40 kHz signal and the West Japan 60 kHz signal. “E” indicates East Japan (40 kHz), and “W” indicates West Japan (60 kHz). The frequency changes automatically, so the clock can be used throughout Japan. Reception performance varies depending on location, building construction, and placement.

While receiving East Japan (40 kHz):    The “E” mark remains displayed. At first, the antenna section flashes. When a valid signal is detected, the antenna section remains lit and the upper radio-wave arcs flash while time information is received. Completion may take up to approximately 7 minutes.

If no valid 40 kHz signal is detected within 3 minutes, the clock automatically switches to West Japan (60 kHz). While receiving 60 kHz:

   The “W” mark remains displayed. The same icon sequence is used. If no valid 60 kHz signal is detected within 3 minutes, reception stops. If a valid signal is detected, completion may take up to approximately 7 minutes.

- ▶ After successful 40 kHz reception, the time is corrected automatically and  remains lit. After successful 60 kHz reception, the time is corrected automatically and  remains lit.
- ▶ Automatic reception follows the order “East Japan (40 kHz) → West Japan (60 kHz).” If a valid signal is received, reception ends at that point. A successful 40 kHz reception does not switch to 60 kHz.
- ▶ If neither frequency can be received and approximately 7 minutes have elapsed from the start of reception, reception ends automatically and the previously displayed time continues to run.
- ▶ During 40 kHz reception, briefly press the Radio Reception button once to switch manually to 60 kHz. During 60 kHz reception, briefly press the ▲ button once to exit reception.
- ▶ In normal display mode, press and hold the Radio Reception button for at least 2 seconds to start manual reception. The reception sequence is the same as after batteries are inserted.
- ▶ During radio reception, only backlight operation and exiting reception are available.
- ▶ Automatic reception is attempted daily at 1:00, 2:00, 3:00, 4:00, and 5:00. The first three are primary attempts; 4:00 and 5:00 are supplementary attempts. Once reception succeeds, later attempts are skipped.

- ▶ After successful reception, manually changing any time or calendar setting causes the  or  reception mark to disappear.
- ▶ If a later automatic reception fails after a previous successful reception, the mark for the previously successful frequency ( or ) is displayed to indicate that the time was not updated.
- ▶ If an alarm time occurs during radio reception, the alarm takes priority and reception is canceled.
- ▶ Temperature measurement is paused during radio reception.

Tips for Better Reception

- ▶ A flashing antenna section indicates that radio reception is in progress.
- ▶ A continuously lit reception mark indicates successful reception.
- ▶ Place the clock at least 2.5 m away from possible interference sources such as televisions and computer monitors.
- ▶ Reception may be difficult in rooms surrounded by concrete walls, basements, or offices. In such cases, place the clock near a window.
- ▶ During reception, the Snooze / Light touch button turns on the backlight, and the ▲ button exits reception. Other functions are unavailable until reception is ended.

Manual Time and Calendar Setting

1. In normal display mode, press the Set button. Radio reception ON/OFF flashes. Use ▲/▼ to select ON or OFF.
2. Press Set to confirm. The hour flashes. Use ▲/▼ to set the current hour.
3. Press Set to confirm. The minute flashes. Use ▲/▼ to set the current minute.
4. Press Set to confirm. The year flashes. Use ▲/▼ to set the current year.
5. Press Set to confirm. The month flashes. Use ▲/▼ to set the current month.
6. Press Set to confirm. The date flashes. Use ▲/▼ to set the current date.
7. Press Set once more to confirm. Setting is completed and the normal display returns.

Notes on Calendar Settings

- ▶ If no button is pressed for approximately 20 seconds during setting, setting mode ends automatically and the normal display returns.
- ▶ Rokuyo repeats in this fixed order: Sensho → Tomobiki → Senpu → Butsumetsu → Taian → Shakko.
- ▶ Rokuyo is not displayed from August 25, 2033 through March 19, 2034. During this period, the Tenpo calendar rules used to determine the leap month cannot be applied in the normal way. This is known as the “Japanese lunar calendar year 2033 problem.”

Day-of-Week Display



Week-of-Month Display

The display “Week 1” through “Week 5” indicates the week of the current month: days 1-7 are Week 1, 8-14 are Week 2, 15-21 are Week 3, 22-28 are Week 4, and days 29 through the end of the month are Week 5.

Alarm Setup

- ▶ In normal display mode, briefly press the Alarm button to view the AL1 and AL2 alarm times in order. The corresponding alarm mark and active-day display (weekdays/weekends) flash once per second.



- ▶ While viewing AL1, the AL2 mark is temporarily hidden regardless of whether AL2 is ON or OFF. While viewing AL2, the AL1 mark is temporarily hidden. Both statuses return in the normal display.
- ▶ Each press of the Alarm button changes the display in this order: AL1 → AL2 → normal display. Each alarm screen remains visible for approximately 5 seconds; if no button is pressed, the clock returns automatically to the normal display.
- ▶ In normal display mode, press and hold the Alarm button for at least 2 seconds to enter alarm setting. The setting order is Hour → Minute → Active Days → Snooze Time.
- ▶ Use ▲/▼ to change values or options. A short press changes one step; holding for at least 2 seconds changes continuously at approximately 0.125-second intervals.
- ▶ Active days can be set to Monday-Friday (weekdays), Saturday-Sunday (weekends), or Monday-Sunday (every day). If both weekday and weekend indicators are shown, the alarm is active every day.
- ▶ The default snooze time is 8 minutes. It can be set to OFF or from 1 to 30 minutes. During snooze-time setting, “ZZ” remains lit and the value flashes once per second.
- ▶ After a new alarm time is set and setting mode is exited, that alarm turns ON automatically and its alarm mark remains lit.
- ▶ If no button is pressed for approximately 20 seconds during alarm setting, the current setting is saved and setting mode ends.

AL1 ON / AL2 OFF → AL1 OFF / AL2 ON → AL1 ON / AL2 ON → AL1 OFF / AL2 OFF → repeat

- ▶ In normal display mode, briefly press ▼ to cycle through the AL1/AL2 ON/OFF combinations shown above.

Alarm and Snooze Operation

- ▶ In normal display mode, press ▼ to change the AL1/AL2 ON/OFF status. An active alarm displays its alarm mark and active days.
- ▶ At the set alarm time, the buzzer sounds for approximately 2 minutes and the corresponding alarm mark flashes.
- ▶ While the alarm is sounding, press any button other than Snooze / Light, or allow it to sound for approximately 2 minutes, to stop the alarm without entering snooze. The alarm will sound again at the next scheduled time.
- ▶ Press Snooze / Light while the alarm is sounding to pause the alarm and enter snooze mode. The alarm mark and “ZZ” flash. The alarm sounds again after the selected snooze interval. Press Snooze / Light again to repeat snooze.
- ▶ If snooze is set to OFF, pressing any button stops the alarm and snooze is not activated.
- ▶ During snooze mode, press any button other than Snooze / Light to exit snooze. The alarm mark stops flashing and “ZZ” disappears.
- ▶ If AL1 and AL2 are set for the same time, AL1 has priority.
- ▶ If AL1 and AL2 are set one minute apart, the earlier alarm stops automatically when the later alarm begins.

Temperature Display / Backlight / Low-Battery

- ▶ Measurement range: -9.9°C to +50.0°C
- ▶ Display resolution: 0.1°C
- ▶ Below -9.9°C, the display shows “LL.L°C.” Above +50°C, it shows “HH.H°C” or “HH°C.”
- ▶ Temperature is measured approximately every 30 seconds. Measurement pauses during alarm operation.
- ▶ Press the Snooze / Light touch button to turn on the backlight for approximately 15 seconds.
- ▶ The backlight turns off automatically when radio reception begins. During reception, briefly press Snooze / Light to turn it on.
- ▶ When the battery voltage falls below 2.5 ± 0.1 V, the low-battery symbol  flashes once per second. Replace both batteries with new ones.